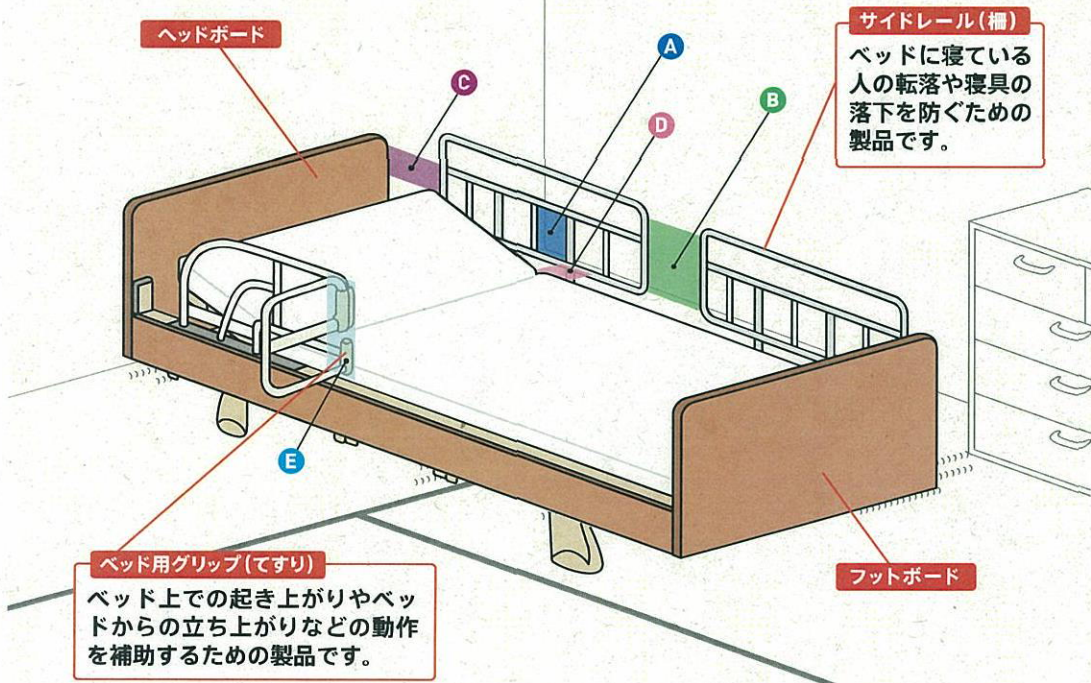
介護ベッドまわりの事故の現状

ここが危ない！

近年、介護ベッド関連の死亡・重傷事故が増えています。事故の多くは危険な部分があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール関連 36件

- A サイドレール内のすき間
- B サイドレールとサイドレールのすき間
- C サイドレールとボードのすき間
- D サイドレールとマットのすき間
- E ベッド用グリップの固定レバー

など

■2007年5月14日～2010年8月31日集計
消費生活用製品安全法に基づく重大事故として報告されたもの
※重大事故：死亡、負傷または疾病であってこれらの治療に要する期間が30日以上等

■経済産業省による調査の結果、36件中22件が「製品に起因しない事故」と判断されています。

こんな事故が起きています

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故

15件 サイドレールの中に頭、腕や足が入り重傷・死亡した。

■頭・首が入った
■腕が入った　■足が入った
■挟んだ状態で「起き上がろうとした」「体をねじった」

5件 サイドレールとサイドレールのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

■ベッドとサイドレールのメーカーが違う
■サイドレールとベッド（マットレス）のすき間

4件 サイドレールとボードのすき間に首がはさまり重傷・死亡した。

■ベッド用グリップを逆に取り付けていた。

3件 サイドレールとマットやベッドフレームの間にはさまり重傷をおった。

■90cm幅対応のベッドに83cm幅のマットを使用していた
■ベッドとサイドレールのメーカーが違う

ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故

3件 着衣がベッド用グリップの固定レバーにひっかかり窒息により死亡。

この部分にひっかかる

3件 首振りの固定レバーが外れ、転倒・骨折した。

■固定されておらず首振り部が急に動き、転倒・骨折した。

この部分の未固定によるもの

3件 その他

その他介護ベッドの事故

13件 ベッド本体と他の物とのすき間にはさまれた事故、ベッドのフレーム内にはさまれた事故。

事故多発時間帯　夜10時～朝8時

事故の多くは夜から朝に起きています。

身体や意識がはっきりしていない時間帯にトイレに行こうとして、ベッドからの転落や移動中の転倒事故が多発しています。特に睡眠薬を服用している場合は身体状況が不安定になり転倒しやすくなります。（医師の指導を守って下さい）

あなたの注意で事故は未然に防げます。チェックリストで確認を!!

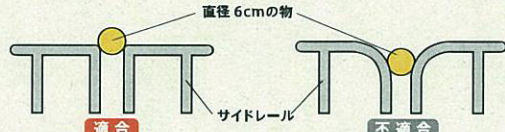
すき間 ☑ チェック①!

認知機能障害など予測できない行動をとる方や片マヒなどの障がいがある方は、特にサイドレールのすき間などに注意して下さい。

すき間に首が入り込む事故が多発しています。

サイドレールとサイドレールのすき間

ボードとサイドレールのすき間

介護ベッドのJIS規格では、図のようにサイドレールとサイドレールのすき間に直径6cmの硬い円柱状の器具が入らないこととされています。

確認してみよう 安全確認スケールを当てて、直径6cmの物が入りそうなすき間がないか確認しましょう。

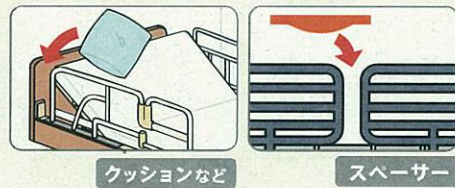
すき間があるときの解決策

- ■ヘッドボードとサイドレールのすき間をクッションなどを入れてうめましょう。
- ■スペーサーなどによりサイドレールとサイドレールの間にはさまらないようにしましょう。
  ※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい
- ■危険なすき間がないサイドレールに交換しましょう。

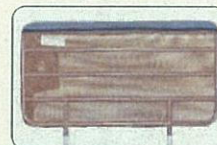
クッションなど　スペーサー

12cm以上のすき間があると‥‥

サイドレールの中に頭が入り、窒息事故が発生しています。

サイドレール内のすき間

確認してみよう

安全確認スケールを当てて、直径12cmの硬い物が入るすき間がないか計測しましょう。

すき間があるときの解決策

サイドレールカバー

ベッド用グリップカバー

をご利用ください。

※メーカーにより対応が異なります。詳しくはメーカーにご確認下さい

固定 ☑ チェック②!

ベッド用グリップの固定を確認していますか？

しっかり固定していないと‥‥

立ち上がるときに転倒し骨折する原因になります。

未固定による転倒・骨折

実際にやってみよう!

首振り機構の固定、ベッドへの固定は確実ですか？

その他 ☑ チェック③!

●取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう。

安全確認スケール すき間確認にご利用ください。

6cm　12cm

0cm 1 2 3 4 5 7 8 9 10 11 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25